

# 地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 後期 第4回)のご案内

## 地震の化石：活断層・震源断層岩

林 愛明

理学研究科地球物理学分野 活構造学講座

内陸の大地震のほとんどは既存の活断層が繰り返し動いて発生する。従って、大地震がどのような機構で同じ断層帯で繰り返し発生するのかを明らかにするためには、活断層・震源断層帯の特性の理解が必要となる。私は、主に、活断層・地表地震断層と震源断層の浅部～深部で形成された地震断層岩の研究を行っています。活断層・地表地震断層の研究においては、衛星画像の解析・空中写真の判読と野外調査を通して、活断層の活動性・古地震と地表地震断層の構造を研究しています。一方、地震断層岩の研究では、いわゆる「地震の化石」であるシュードタキライトや脈状断層岩とそれに関連した震源断層岩などの組織構造解析・化学組成分析を高速摩擦実験と組み合わせて、震源断層の破壊メカニズムの解明を目指している。本講演では、大地震を記録した「地震の化石」である活断層・地表地震断層と震源断層の浅部～深部で形成された断層岩についての研究概要を紹介する。

10月31日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室